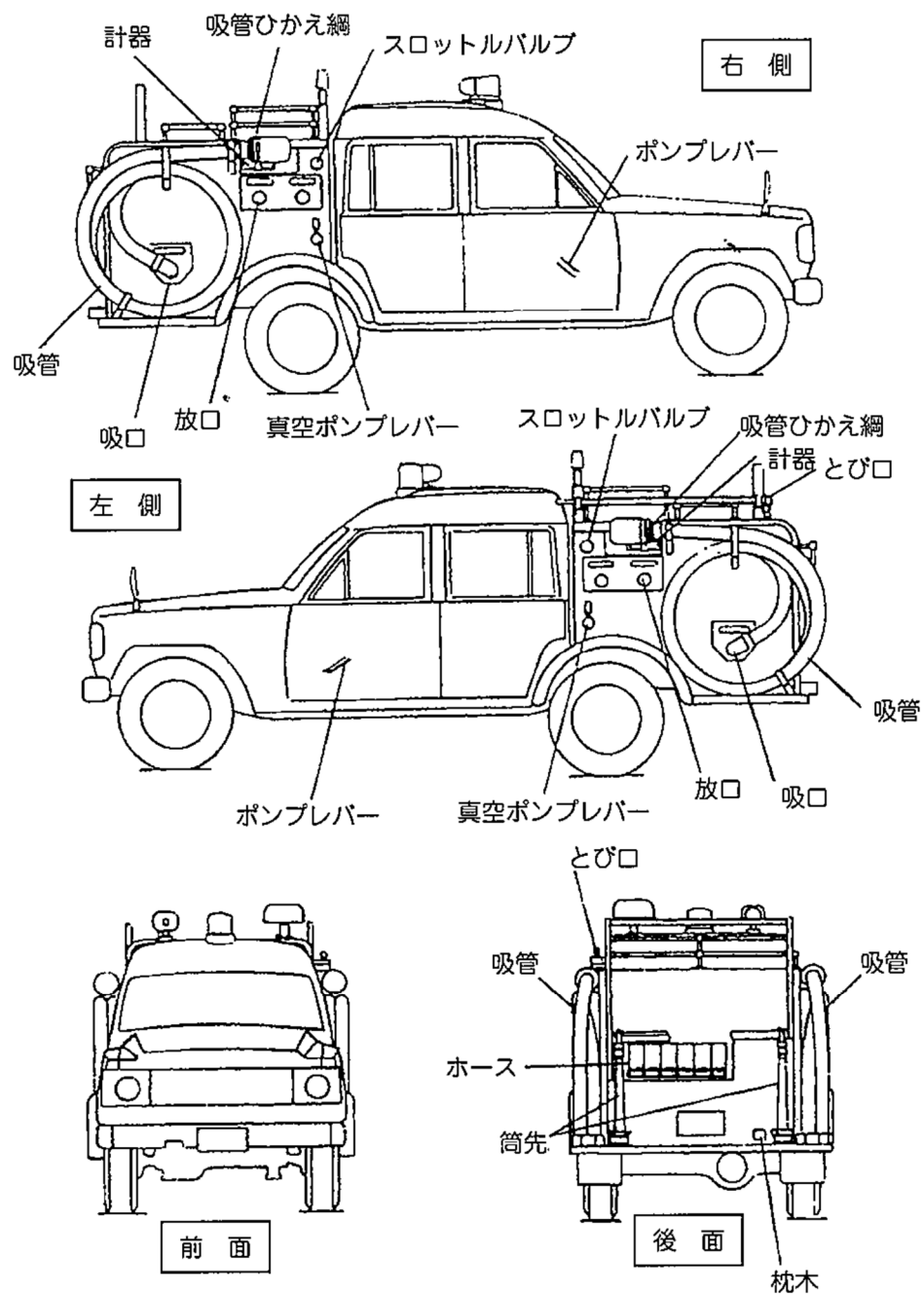


ポンプ車操法

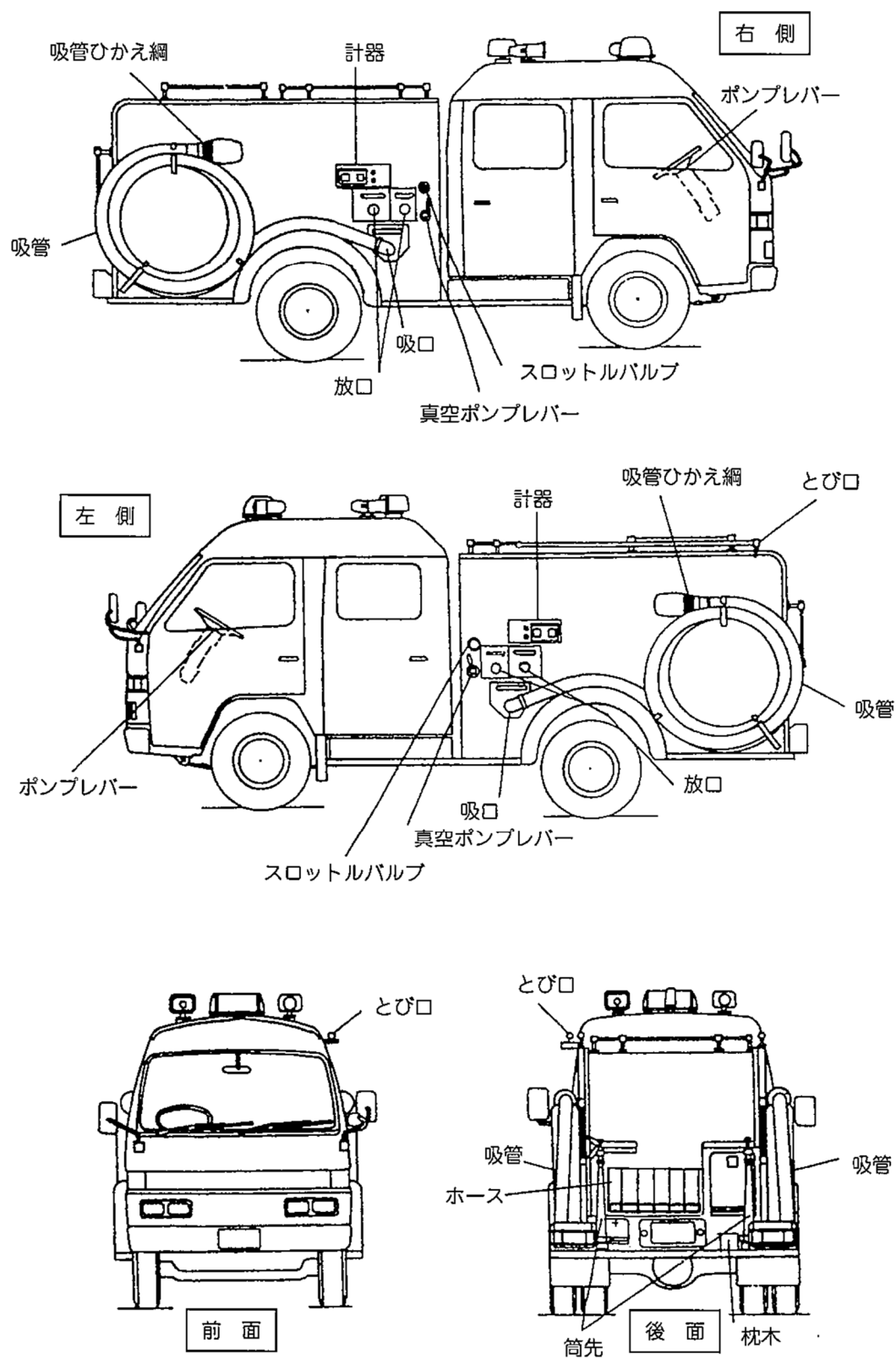
1 ポンプ車各部の名称

積 載		品	
ホース (65mm×20m 以上)	6 本	枕木	1 個
吸管 (75mm×8 m 以上)	1 本	とび口 (1.5m 以上)	1 本
筒先 (23 型以下の可変式ノズル付)	2 本	吸管ひかえ綱	1 本
車輪止め	1 対	(10mm×10m 以上)	

(1) BD型外観図



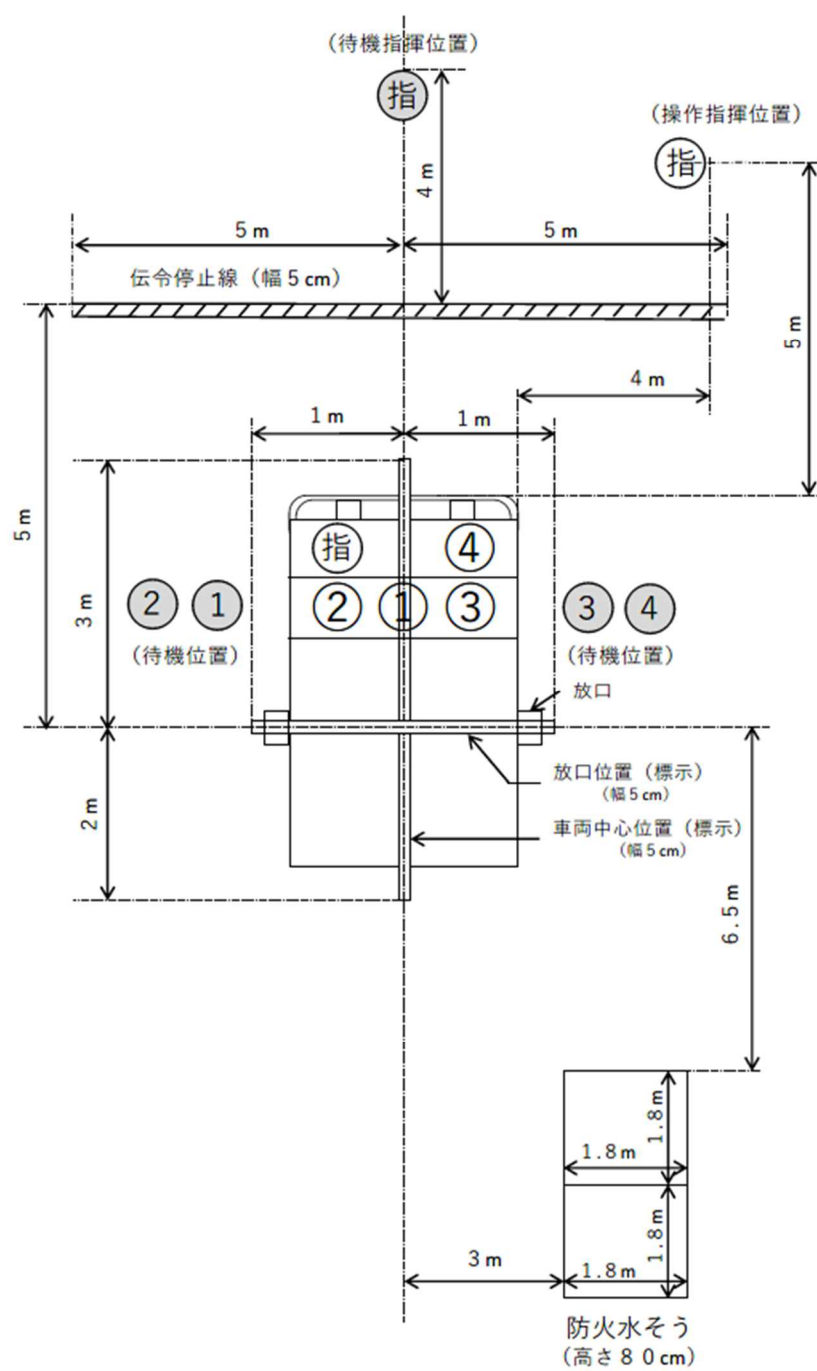
(2) CD型外観図



2 機材のセッティング（ポンプ車）

- (1) ポンプ車等の配置は、次の3 ポンプ車操法の待機位置等実施要領定位図のとおりとする。
- (2) ホースの配置は、めす金具が手前になるよう6本を1列に並べ、ステップ後端より30センチメートル以上離して、めす金具が浮かないように置く（ホースの間隔は問わない。）
- (3) ホースを並べる板を設ける場合、板の材質（木板、鉄板等）は問わないが、仕切りを設けずフラットとする。
- (4) ホースを並べる板を設けた場合でも、筒先用のキャッチと受けを必ず取り付ける。
- (5) (1) から(4) によるホース積載スペースを確保できない場合については、ステップ後端（テールランプを含む）を超えてホースを並べる板を設けることができる。
この場合、その板の幅を車幅に合わせることにする。
- (6) とび口をキャッチにはめ込む。なお、とび口収納場所が外面にない車両にもキャッチを取付けてとび口をセットする。
- (7) 枕木は、車両後部に置く。
- (8) 出場車両は、サイドミラーを倒した状態で競技を行わない。
- (9) 出場車両は、窓を全開にする。

3 ポンプ車操法の待機位置等



4 ポンプ車操法実施要領

実施項目	実施要領
待機	指揮者 待機指揮位置で火点方向に向いて、「整列休め」の姿勢で待機する。 各隊員 待機位置（①②は車両助手席側後方ドア横、③④は車両運転席側後方ドア横の乗車しやすい位置）に火点方向に向いて 「整列休め」の姿勢で待機する。
点呼	指揮者 審査班長の「操法開始」の合図により待機指揮位置で回れ右をし、各隊員に対して相対した後、「気をつけ」の号令をかけ隊員を「基本の姿勢」にし、「番号」と号令する。 各隊員 ⑤の「番号」の号令で、①から順次各自の番号を呼唱する。
開始報告	指揮者 待機指揮位置で回れ右をし、審査班長に挙手注目の敬礼を行い、「〇〇市(町)消防団、ただ今からポンプ車操法を開始します。」と報告し、挙手注目の敬礼を行った後、回れ右をする。 各隊員 ⑤の開始報告中は、基本の姿勢で待つ。
想定付与	指揮者 「火点は前方の標的、水利はポンプ車右側後方防火水槽、手びろめによる二重巻ホース一線延長」 各隊員 基本の姿勢で、⑤の想定を受ける。
乗車	乗車時にドア開閉（全開の必要はない。）し、車両への乗り込みは三点支持を励行すること。 指揮者 「乗車」と号令し、各隊員の乗車を確認した後、速やかに乗車する。 各隊員 ⑤の号令で、①②は右向け右をし、③は左向け左をし、④は半ば左向け左をし、速やかに乗車する（各隊員同士で動作を合わせる必要はない。）。④はエンジンを始動させ（さわる程度とする）、⑤①②③は車両の走行に対応できる姿勢をとる。

下 車	下車時のドア開放は、窓から目視で後方確認後、二段操作（少し開け、後方を確認する。）で開放する（全開の必要はない。）。 ドアは勢い任せで閉めず、最後までドアから片方の手を離さない。 指 揮 者 乗車後、直ちに各隊員の乗車状況を確認し、「操作始め」と号令し、④の「よし」の合図後、ドアを開放させ下車する。 1・2・3 番員 ④の「よし」の合図後、ドアを開放させ下車する。 4 番 員 ⑤の「操作始め」の号令により、各隊員の必要な操作の完了を確認し、サイドブレーキを引き（確認）「よし」と呼唱合図し、ポンプレバー等を操作（さわる程度とする）してドアを開放させ下車する。
第 1 線 延 長	指 揮 者 下車後、直ちに操作指揮位置（ポンプ車前方 5 メートル、ポンプ車右側方 4 メートル）に停止し、吸管操作及びホース延長等を監視する。 続いて、②が第 1 ホース延長後、おす金具を地面に置くと同時に、①に先行して火点に向かって前進し、火点指揮位置に停止して火点（標的）の状況を確認した後、左に大きく向きを変えて操作の状況を監視し、②が注水補助位置にいたり「伝達終わり」の合図後、右に大きく向きを変えて火点状況を監視する。 （火点指揮位置は①の斜め右前方、おおむね 3 メートルとする。） 1 番 員 下車後、ポンプ車後方に向きを変えて発進し、ポンプ車の後部にいたり、ポンプ車左側に積載してある筒先を取りはずして筒先を背負い、さらに積載ホース（第 3 ホース）のめす金具部を右手で、左手はめす金具の反対側を保持し、めす金具部が上部斜め前方になるように左肩上に乗せ、めす金具部を左手に持ち変え、右手をおろし左に向きを変え、足を引きつけることなく発進し、ポンプ車左側を通過して第 1・第 2 ホースの延長距離を考慮して火点に向かって前進し、第 3 ホース展張延長地点にいたり、左手（めす金具部を持ったまま）を下げると同時に右手でめす金具部を持ち変え、左手でめす金具の反対側を保持し、めす金具が手前になるように肩からおろして地面に立て、展張する。 次いで右手はおす金具を持ったまま左足を軸に身体を右回りに反転させ、おす金具を左足近くに置き、身体を起こして筒先を第 3 ホ

ースと結合して確認し、左手でプレイパイプ上部を持ち、右手で取手を握ると同時に、ホースから左足を離して（右足を軸）火点側へ1歩踏み込み、基本注水姿勢をとる。②が第2ホースを延長し、第3ホースに結合して姿勢を正した時点で、②に対し「放水始め」と呼唱合図し、②の復唱後、火点に向かっておおむね15メートル前進し、左上腕と腹部で筒先を抱え込み、折りひざ又は折りひざに準じた姿勢で、右手でホースをたぐり寄せ、これを右手で持って立つと同時に右足を1歩大きく踏み出し、半円を描くようにひろげ、おおむね5メートルの余裕ホースをとり、（後方におおむね1メートルの注水補助ができる場所をつくる。）基本注水姿勢をとる。

次いで右手を筒先から離さないように滑らせながらプレイパイプの中央付近へ移動し、筒先を右腋下と右腕で完全に抱え、左手を筒先から離さず滑らせながらノズルを握り徐々に開き、ノズルが開いたならば左手を離さないように滑らせてプレイパイプ上部を握り、右手もプレイパイプを離さないように滑らせながら、取手を握って標的に向かい基本注水姿勢をとる。

2 番 員

（1）ホース延長

下車後、ポンプ車後方に向きを変えて発進し、ポンプ車の後部にいたり、第2ホースを搬送に便利な位置に置き、次いで第1ホースを展張に便利な位置に搬送し、ホースのめす金具が手前になるように地面に立てて展張し、おす金具近くを折って搬送に便利な位置に置き、右足をホースから離すと同時にめす金具を両手で持ち上げ、左手でめす金具、右手はホースに持ち変え、おおむね2メートルの余裕ホースをとった後、めす金具を両手で持って第1放口に結合し確認する。

続いて、折りひざ又は折りひざに準じた姿勢で第2ホースを左肩上にかつぎ、第1ホースのおす金具を右手に持ち、腰につけた後、展張ホースの左側に沿って延長し、火点に向って前進する。

第2結合実施場所にいたり、第1ホースのおす金具をその場に置き、第2ホースをめす金具が手前になるように肩からおろして、地面に立てて展張し、第2ホースのおす金具近くを折って搬送に便利な所に置き、第1ホースと第2ホースを結合し確認する。

次いで第2ホースのおす金具を右手に持ち、腰につけたのち展張ホースの左側に沿って延長し、第3結合実施場所にいたり、第2ホースのおす金具をその場に置き、第2ホースと第3ホースを結合し、確認して、火点の方向に向きを変え、右足を左足に引きつけて基本の姿勢をとる。（両足かかどが第3結合部より火点側になる。）

続いて、①の「放水始め」を復唱し、回れ右をして（右足を引きつけることなく）発進し、延長ホースの左側に沿ってポンプ車方向に前進する。

（２）放水開始の伝達

伝令停止線内の位置で、④に相対して停止し、右手を垂直に上げて「放水始め」と④に伝達し、④が復唱の手を下ろした後、右手をおろし、回れ右をして（右足を引きつけることなく）発進し、延長ホースの左側に沿って最短距離で注水部署（①の反対側１歩後方）にいたり「伝達終わり」と呼唱合図して注水補助を行う。

3 番 員

（１）吸管伸長

下車後、ポンプ車後方に向きを変えて発進し、吸管積載部の左側に右向け止まれの要領で止まり（開脚）、近くの吸管止め金はずし、④から送り出されたストレーナー付近の吸管を両手で受け取ると同時に吸管左側に出て、右手は吸管の下から、左手は吸管を左腋下に抱えるように持ち変え、伸長方向に向きを変え、④の送り出す吸管のよじれをとりながらストレーナー側に重心をかけ、引きずらないように④と協力して伸長する。

続いて、④の「よし」の合図で、④と歩調を合わせて、左足から２歩半で吸管投入に便利な位置まで進み、吸管をその場に置き、右足を立てた折りひぎの姿勢で、吸管控綱を取りはずして（控綱を固定しておく輪ゴムは、そのまま藤かご又は吸管につけたままとする。）右脇に置き、右手で控綱の根本と末端を持ち、左手で吸管を持って立ち上がり、「よし」と合図して右足を半歩前に踏み出し、吸管控綱を送り出しながら、④の協力で吸管を水利に投入する。

続いて、吸管控綱の末端を右手に持ってポンプ車方向に向きを変え、かけ足行進の要領で発進し、ポンプ車後部にいたり、車両後部の強固な位置に、もやい結び及び半結び（末端をおおむね 10 センチメートル残す。）で結着した後、枕木を取り出して吸管投入位置に向きを変え、かけ足行進の要領で発進し、枕木取付位置にいたり、枕木を吸管の下に敷き、バンドを取り付ける。

（２）とび口搬送及び部署

枕木取り付け後、とび口積載方向に向きを変え、かけ足行進の要領で発進し、とび口積載部に右向け止まれの要領（開脚）で止まり、とび口柄の中央部付近を左手で上から持ち、右手は下からほぼ肩幅の間隔となるように持ってとび口をおろし、左に向きを変えると同時にこれを左腋下に抱えて、かけ足行進の要領で発進し、延長ホースの左側に沿って最短距離で破壊地点にいたり、左手で柄の中央部

	を、右手で柄の後部（後端からおおむね 10 センチメートルの位置）を持ってとび口を構える。 4 番 員 （1）吸管伸長 下車後、ポンプ車後方に向きを変えて発進し、吸管積載部の右側に右向け止まれの要領で止まり（開脚）、近くの吸管止め金はずし、ストレーナー付近の吸管を③に渡した後、吸管伸長が終わろうとするところで吸管を離すことなく吸管中央部にいたり、吸管左側に出て両手で吸管を腰部で持ち（左手は吸管の上から、右手は吸管の下から）、ストレーナー側に重心をかけ、「よし」と合図し、③と歩調を合わせて、左足から 2 歩半で、吸管投入に便利な位置まで進み、③の投入合図の「よし」で右足を半歩前に踏み出し、吸管投入の補助をする。 （2）送水準備 吸管投入補助後、吸口方向へ向きを変え、かけ足行進の要領で発進し、吸管接地部をまたいで吸口に面し、左向け止まれの要領（開脚）で止まり、吸口を全開し、真空ポンプレバーとスロットルバルブが同時にさわれる位置にいたり、計器に配意しながら揚水操作を行う（さわる程度とする）。 次いで右足を横に開き、余裕ホースに配意した後、再び火点に向かって姿勢を正し、放水開始の伝達を待つ。（第 1 放口側余裕ホースの後で、ポンプ運用に便利な位置） （3）放水開始及び送水操作 ②の「放水始め」の伝達に右手を垂直に上げて、「放水始め」と復唱し、右手をおろして、第 1 放口側に左足を 1 歩踏み出し、一方の手で放口コックを全開にするまで徐々に開き、同時に計器に配意しながら他方の手でスロットルバルブを操作し（さわる程度とする）、適正圧力を確保した後、左足を引きつけ、火点に向かって姿勢を正す。
第 2 線 延 長	指 揮 者 合図により、火点監視の姿勢から①の方向に向きを変え、「第 2 線延長始め」と号令し、そのままの姿勢で頭を動かし、①及び②③④の操作状況を監視する。③が「第 2 線放水始め」を④に伝達し、注水部署にいたり「伝達終わり」と合図したならば、火点に向きを変え火点状況を監視する。 1 番 員 ③の「第 2 線延長始め」の号令を復唱した後、注水操作を続ける。

2 番 員

①の「第2線延長始め」の復唱に、「よし」と呼唱合図してホースを離し、後方（ポンプ車側）に向きを変えて発進し、延長ホースの左側に沿って伝令停止線内の位置で④に相対して停止し、「第2線延長」と呼唱合図し、④の「第2線延長」の復唱後、④の後からポンプ車右側後部に右向け止まれの要領（開脚）で止まり、④から手渡される筒先を背負い、左に向きを変え、かけ足行進の要領で発進し、吸管接地部分をまたいでポンプ車後部のホース積載部にいたり、積載ホース（第3ホース）のめす金具を右手で、左手はめす金具の反対側を保持し、めす金具が上部斜め前方になるように左肩上に乗せ、めす金具部を左手に持ち変え、右手をおろして（足を引きつけることなく）発進し、ポンプ車左側を通過して、第1・第2ホースの延長距離を考慮して火点に向かって前進し、第3ホース展張延長地点にいたり、左手（めす金具を持ったまま）を下げると同時に右手でめす金具部を持ち変え、左手でめす金具の反対側を保持し、めす金具が手前になるように肩からおろして地面に立てて展張する。

次いで右手はおす金具を持ったまま、左足を軸に身体を右回りに反転させ、おす金具を左足近くに置き、身体を起こして、筒先を第3ホースと結合して確認し、左手でプレイパイプ上部を持ち、右手で取手を握ると同時にホースから左足を離して（右足を軸）火点側へ1歩踏み込み、基本注水姿勢をとる。

③が第2ホースを延長し、第3ホースに結合して姿勢を正した時点で、③に対し「第2線放水始め」と呼唱合図し、火点に向っておおむね15メートル前進し、左上腕と腹部で筒先を抱え込み、折りひざ又は折りひざに準じた姿勢で、右手でホースをたぐり寄せ、これを右手で持って立つと同時に右足を1歩大きく後に引き、半円を描くように広げ、おおむね5メートルの余裕ホースをとり、（後方におおむね1メートルの注水補助ができる場所をつくる。）基本注水姿勢をとる。

次いで右手を筒先から離さないように滑らせながらプレイパイプの中央付近へ移動し、筒先を右腋下と右腕で完全に抱え、左手を筒先から離さず滑らせながらノズルを握り、徐々に開き、ノズルが開いたならば、左手を離さないように滑らせてプレイパイプ上部を握り、右手もプレイパイプを離さないように滑らせながら取手を握って標的に向かい、基本注水姿勢をとる。

3 番 員

(1) 第2線ホース

①の「第2線延長始め」の復唱に、「よし」と呼唱して、とび口をその場に置き、身体を起こして後方に向きを変えて発進し、ホースに沿って最短距離を通してポンプ車後部のホース積載位置にいたり、第2ホースを搬送に便利な位置に置き、次いで第1ホースを展開に便利な位置に搬送し、ホースのめす金具が手前になるように地面に立てて展開し、おす金具近くを折って搬送に便利な位置に置き、めす金具を両手で持ち上げ、右手でめす金具、左手はホースに持ち変え、おおむね2メートルの余裕ホースをとった後、めす金具を両手で持って第2放口に結合し確認する。

続いて、折りひざ又は折りひざに準じた姿勢で第2ホースを左肩 upper にかつぎ、第1ホースのおす金具を右手に持ち、腰につけた後、展開ホースの左側に沿って延長し、火点に向かって前進する。第2結合実施場所にいたり、第1ホースのおす金具をその場に置き、第2ホースをめす金具が手前になるように肩からおろして地面に立てて展開し、第2ホースのおす金具近くを折って搬送に便利な位置に置き、第1ホースと第2ホースを結合し確認する。

次いで第2ホースのおす金具を右手に持ち、腰につけた後、展開ホースの左側に沿って延長し、第3結合実施場所にいたり、第2ホースのおす金具をその場に置き、第2ホースと第3ホースを結合し、確認して、火点の方向に向きを変え、右足を左足に引きつけて基本の姿勢をとる。(両足かかとは第3結合部より火点側になる。)

続いて、②の「第2線放水始め」を復唱し、回れ右をして(右足を引きつけることなく)発進し、延長ホースの左側に沿ってポンプ車方向に前進する。

(2) 第2線放水開始の伝達

第2結合部付近をまたいで④の方向に直進し、伝令停止線内の位置で④に相対して停止し、右手を垂直に上げて「第2線放水始め」と④に伝達し、④が復唱の手を下ろした後、右手をおろし、回れ右をして(右足を引きつけることなく)発進し、延長ホースの右側に沿って最短距離で第2線の注水部署(②の反対側1歩後方)にいたり、「伝達終わり」と呼唱合図する。

続いて、破壊地点にいたり、再び、とび口を持って構える。

4 番 員

(1) 第2線延長受達

②の「第2線延長」の呼唱伝達に基本の姿勢で「第2線延長」と

	復唱し、回れ右をして（足を引きつけることなく）発進し、吸管接地部をまたぎ第2線筒先積載部にいたり、筒先を取りはずし、そのまま右に向きを変え②と相対し、筒先を水平にして②に渡す。 （2）第2線放水開始の送水操作 筒先を渡した後、右に向きを変えて発進し、吸管接地部をまたぎポンプ車右側を通過してポンプ車の前部にいたり（ポンプ車左側面の延長線の右側で③の通過を待つ）、③が目の前を通過した後、第2放口側に移動し、火点に向かって姿勢を正す。 次いで左足を横に開き余裕ホースに配意した後、再び火点に向かって姿勢を正し、放水開始の伝達を待つ。 （3）放水開始及び送水操作 ③の「第2線放水始め」の伝達に、右手を垂直に上げて「第2線放水始め」と復唱し、右手をおろして第2放口側に右足を1歩踏み出し、一方の手は放口コックを全開するまで徐々に開き、同時に計器に配意しながら他方の手はスロットルバルブを操作し（さわる程度とする）、適正圧力を確保した後、右足を引きつけ火点に向かって姿勢を正す。③の②に対する「伝達終わり」の合図を確認した後、左に向きを変え、（足を引きつけることなく）発進し、ポンプ車前を通り第1放口側に右向け止まれの要領で停止し、火点に向かって姿勢を正して計器に配意しながら送水操作を続ける。
放水中止	指揮者 合図により、火点監視の姿勢から①の方向に向きを変え、姿勢を正して「放水止め」と号令し、各隊員の操作状況を監視し、③が「放水止め」の伝達後、とび口を立てたのを確認して、火点方向に向きを変え鎮圧状況を監視する。 1番員 ③の「放水止め」の号令で、基本注水姿勢からノズル操作（放水開始時のノズル操作参照）を行って放水を中止し、「第1線放水止め」と呼唱復唱し、③が④に放水中止の伝達を終えて注水部署（第1線の注水部署と第2線の注水部署の中間地点）に戻って行く「伝達終わり」の合図に合わせ、右手を筒先から離さないように滑らせながらプレイパイプの中央付近へ移動し、筒先を右腋下にしっかり抱え、ノズルを下方に向けて排水し、（下向きでノズルを全開にする。）係員の指示によりノズルを完全に閉める。ノズルから左手をプレイパイプ上部に滑らせながら握り変え、右手でノズルを握り、「よし」と呼唱合図して左手を離すと同時に左足を右足にひきつけ、筒先を右足きわに立てて姿勢を正す。

2 番 員

③の「放水止め」の号令で、基本注水姿勢からノズル操作（放水開始時のノズル操作参照）を行って放水を中止して「第2線放水止め」と呼唱復唱し、③が④に放水中止の伝達を終えて注水部署（第1線の注水部署と第2線の注水部署の中間地点）に戻って行く「伝達終わり」の合図に合わせ、右手を筒先から離さないように滑らせながらプレイパイプの中央付近へ移動し、筒先を右腋下にしっかり抱え、ノズルを下方に向けて排水し（下向きでノズルを全開にする。）、係員の指示によりノズルを完全に閉める。ノズルから左手をプレイパイプ上部に滑らせながら握り変え、右手でノズルを握り、「よし」と呼唱合図して左手を離すと同時に左足を右足にひきつけ、筒先を右足きわに立てて姿勢を正す。

3 番 員

①の「第1線放水止め」及び②の「第2線放水止め」の合図復唱を確認した後、「よし」と呼唱合図して、とび口をその場に置き、身体を起こして後方に向きを変えて発進し、第1線の延長ホースの左側に沿って伝令停止線内の位置で④に相対して停止し、右手を横水平に上げて「放水止め」と④に伝達し、④が復唱の手を下ろした後右手をおろし、回れ右をして（右足をひきつけることなく）発進し、第1線の延長ホースの左側に沿って注水部署（第1線の注水部署と第2線の注水部署の中間地点で、①の右足かかとと②の右足かかとを結んだ線上に③の両足かかとが並ぶ位置）に停止して、「伝達終わり」と呼唱合図し、左足を一步踏み出し、とび口をとり、右足きわに立てて姿勢を正す。

4 番 員

③の「放水止め」の伝達に右手を横水平に上げて「放水止め」と復唱し、右手をおろし第1放口側に左足を1歩踏み出し、計器に配意しながら一方の手でスロットルバルブを操作し（さわる程度とする）、同時に他方の手で第1放口コックを徐々に閉じる。

次いで足を引きつけることなく右に向きを変えて発進し、ポンプ車前を通過して第2放口側にいたり、放口コックを徐々に閉じ、火点に向かって姿勢を正す。

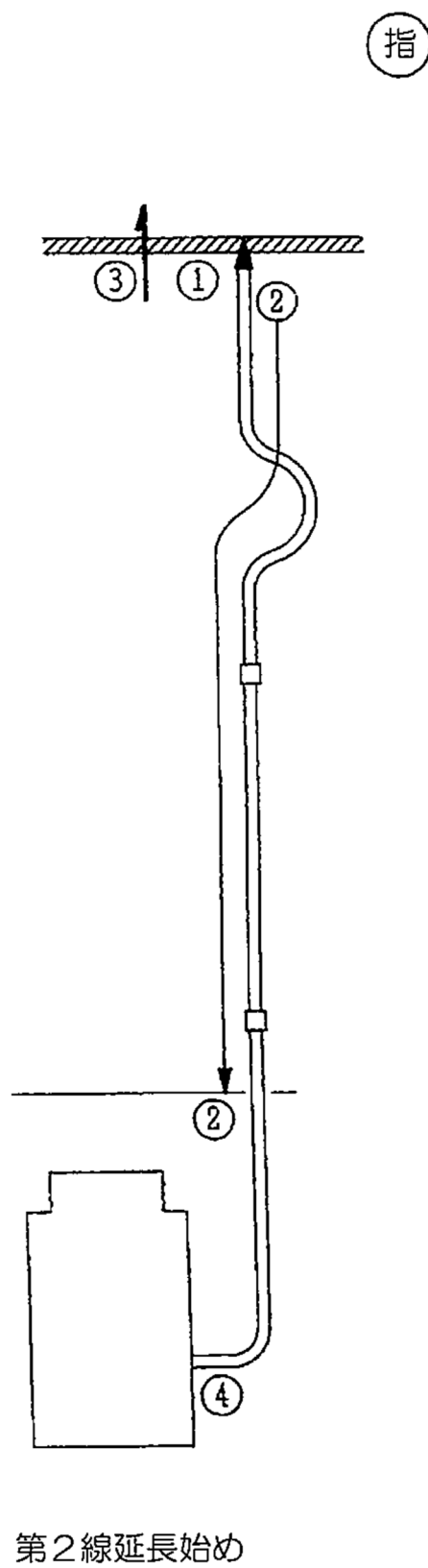
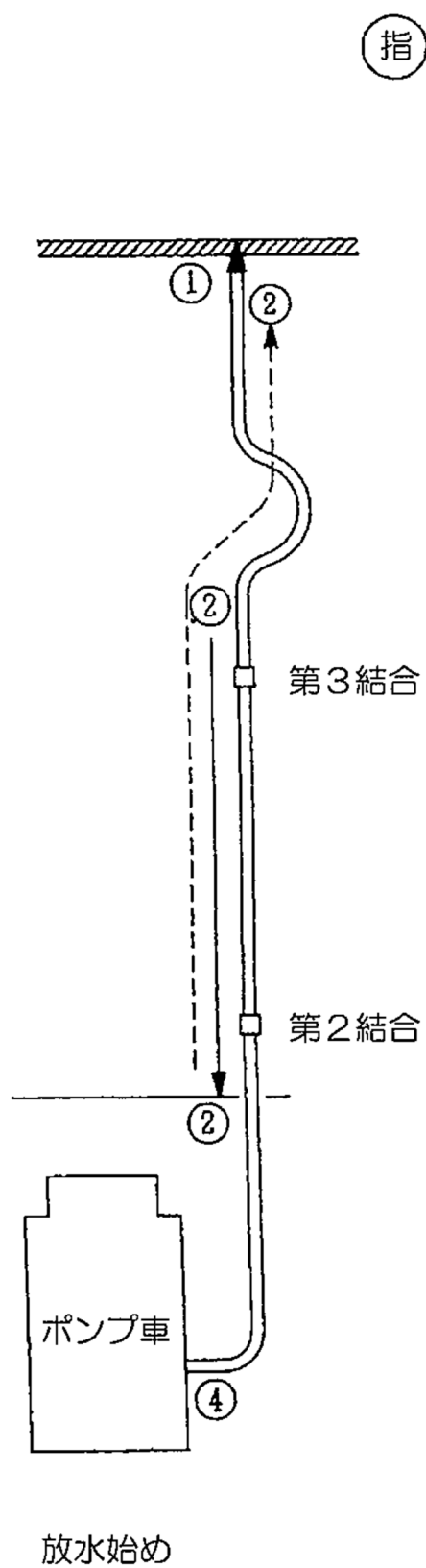
次いで③の放水中止の「伝達終わり」の合図を確認した後、左に向きを変えて足をひきつけることなく発進し、再びポンプ車前を通過して第1放口側に右向け止まれの要領で停止した後、火点に向かって姿勢を正す。

収 納	指揮者 合図により、①の方向に向きを変えて「収め」と号令し、①②が筒先を離脱して背負うのを確認した後、①②とともに発進し、第1線第2ホースをまたいでポンプ車方向を向いて待機指揮位置で停止する。 1・2番員 ③の「収め」の号令に「よし」と呼唱し、筒先を第3ホースから離脱し、背負った後、③とともに発進し、第1線第2ホース及び第2線第1ホースをまたいでポンプ車左側を通り、筒先を元の位置に収め、待機位置に集まる。 2番員 ③の「収め」の号令に「よし」と呼唱し、筒先を第3ホースから離脱し、背負った後、③とともに発進し、第2線第1ホースをまたいでポンプ車左側を通り、筒先を元の位置に収め、待機位置に集まる。 3番員 ③の「収め」の号令に「よし」と呼唱し、とび口を浮かし、回れ右の要領で向きを変えると同時にとび口を左手に持ち変えて左腋下に抱え、第2線第1ホースをまたいでとび口収納位置にいたり、両手でとび口を持ち上げ、元の位置に収めて待機位置に集まる。 4番員 ③の「収め」の号令に「よし」と呼唱し、乗車位置にいたり、乗車した後、ポンプレバーを操作し（さわる程度とする）、次いでエンジンを停止（さわる程度とする）した後下車し、延長ホースの内側で第1放口のホースを離脱し伸長させ、ポンプ車前を通り、第2放口にいたり、ホースを離脱し伸長させた後、待機位置に集まる。
身体・服装 の点検	指揮者 待機指揮位置に停止した段階で、負傷の有無及び服装の乱れを点検し整える。 各隊員 待機位置に集まった順に、各隊員それぞれ負傷の有無及び服装の乱れを点検し整える。
点検報告	指揮者 各隊員の身体、服装の点検後「点検報告」と号令し、各隊員の点

	検結果の報告に対し、それぞれ「よし」と呼唱して受領する。 各 隊 員 身体、服装の点検終了後、自主整頓し、⑤の「点検報告」の号令で、①から④まで順次⑤に相対し、「○番員異常なし」と報告する。
終 了 報 告	指 揮 者 待機指揮位置で回れ右をし、審査班長に挙手注目の敬礼を行い、「〇〇市(町)消防団、ポンプ車操法を終了しました。」と報告し、挙手注目の敬礼を行った後、回れ右をし、各隊員に対して相対する。 各 隊 員 ⑤の終了報告中は、基本の姿勢で待つ。
解 散	指 揮 者 各隊員に対し、「わかれ」と号令し、答礼し、解散させる。 各 隊 員 ⑤の「わかれ」の号令により、一斉に⑤に相対し、挙手注目の敬礼を行い、解散する。

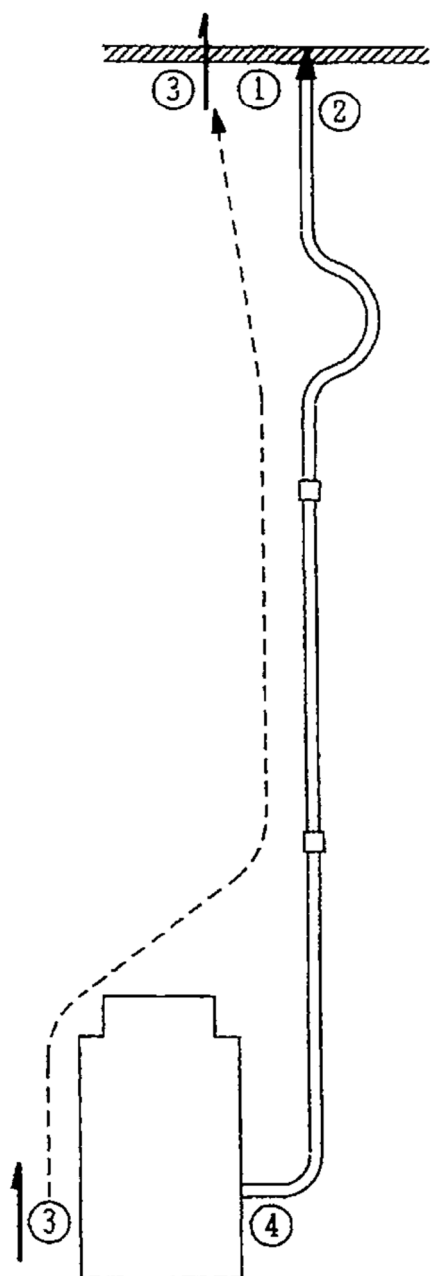
5 経路説明図

(1) 2番員の伝達経路図



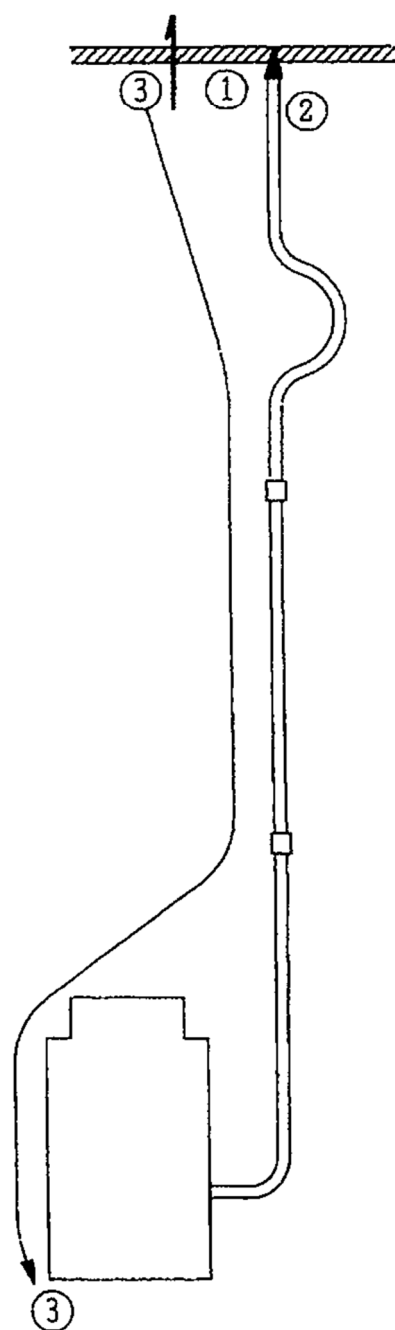
(2) 3番員の経路図

指



とび口搬送

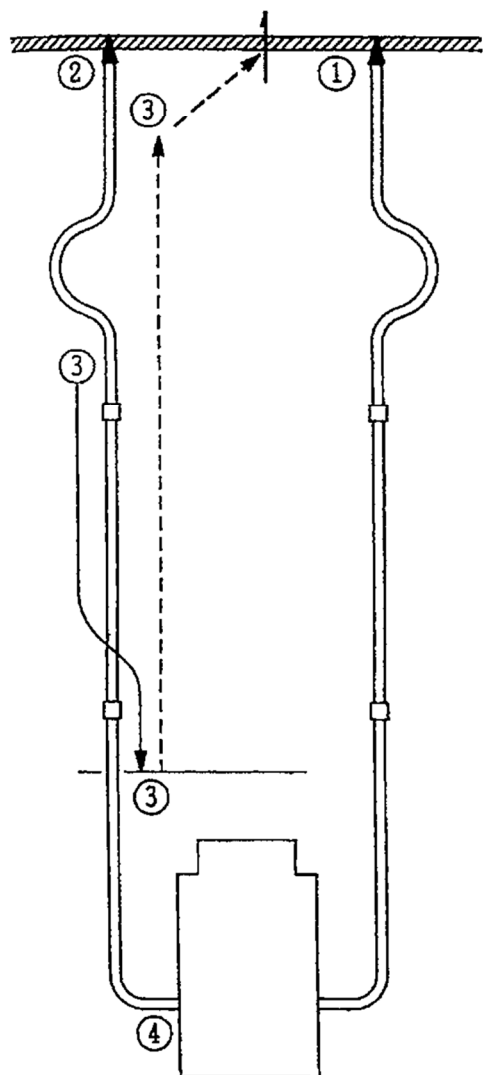
指



第2線延長始め

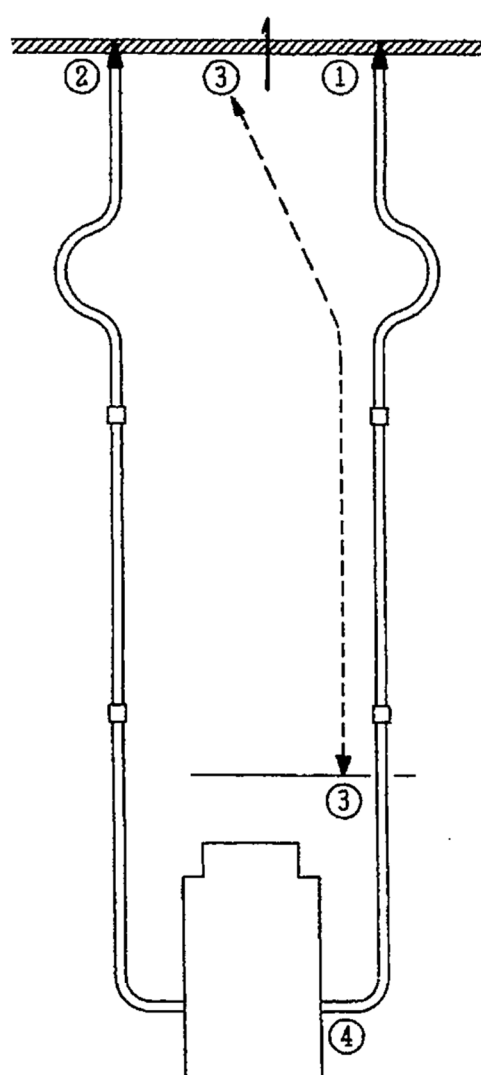
(3) 3番員の伝達経路図

指



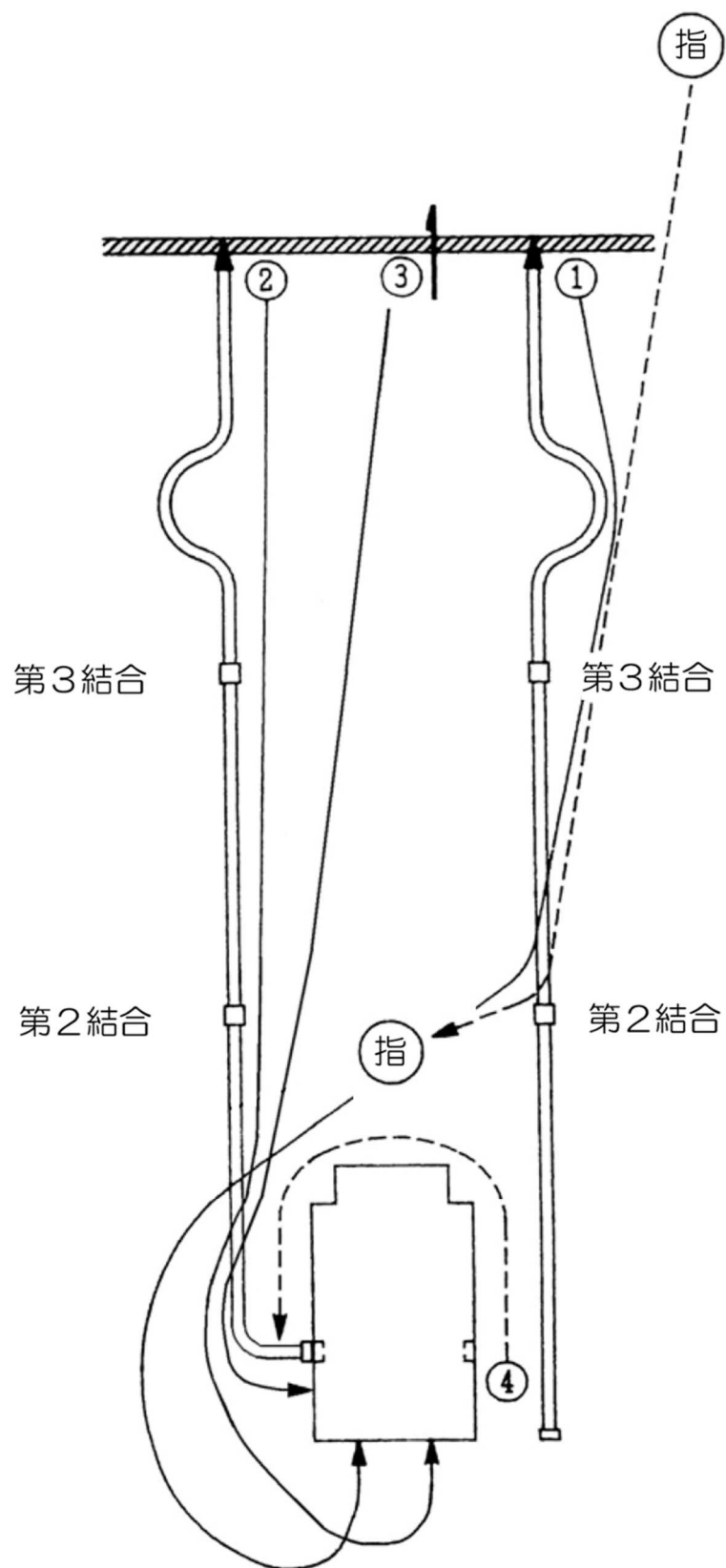
第2線放水始め

指



第1線、第2線放水止め

(4) 収納経路図 (ポンプ車)



6 延長体系図

